

■高校受験（受検）について

いよいよ勝負の冬休みがやってきます。長期休業といってもたった17日間しかありません。その中で3年間で効率よく振り返って力をつけるためには、先を見据えた計画性と目標に向かう強い意志が必要です。私立・専修推薦入試1月16日まで登校日数が残り12日、私立一入試1月23日（24日、25日）まで登校日数が残り17日（18日、19日）、公立推薦選抜入試（2月6日）まで登校日数が残り27日、公立一般選抜学力検査（2月22日）まで登校日数が残り38日です。限られた時間で学習していかなければなりません。後悔のないよう、全てを出し尽くしましょう。

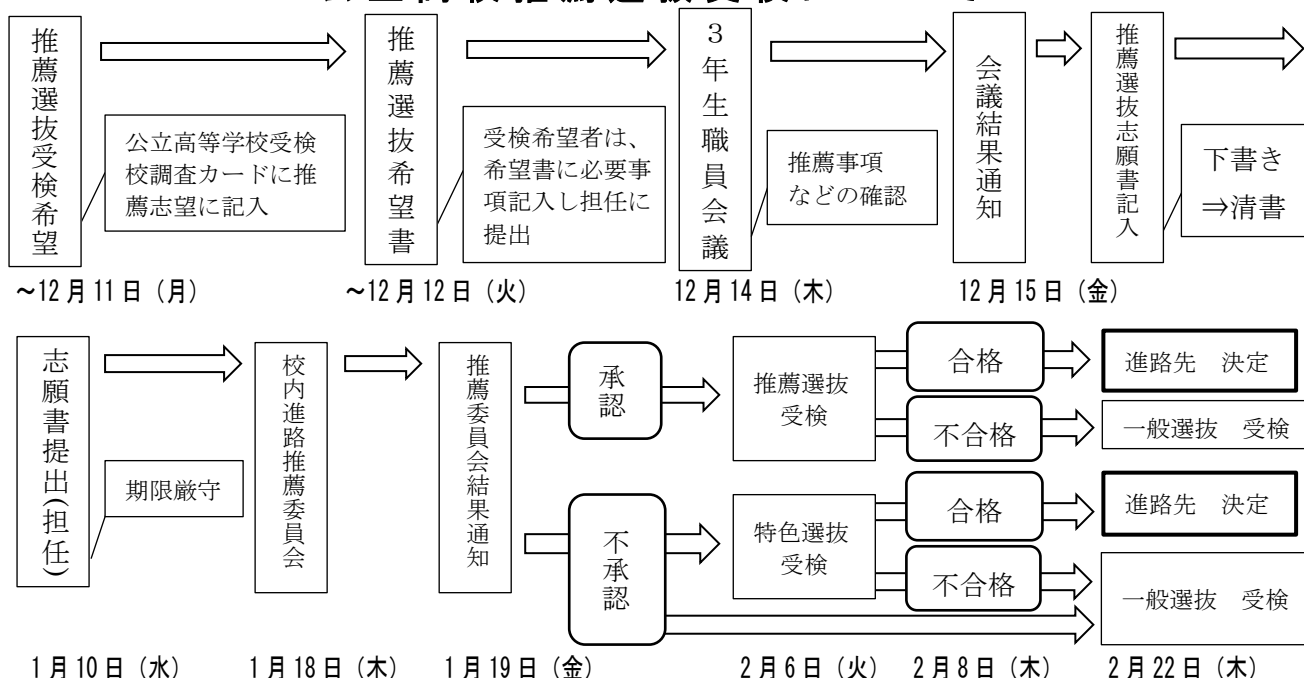
※入試対策テスト（1月9日）、学年末テスト（1月30日）があります。その他の日程で、入試問題対策としてテストを取り入れていきます。

■推薦選抜入試について（公立高校）

推薦選抜入試を希望する生徒は、担任や保護者と十分話し合いがされたのち、「推薦志願書」を記入して学校に提出します。これは、担任から「推薦志願書」が渡され、懇談会最終日までに提出することになります。「推薦志願書」「推薦希望書」が提出された生徒は、学年で協議され、協議の結果を本校の推薦委員会にはかります。推薦委員会では、一人一人について、「当該校の学習についていけるのか」「人物は優れているのか」など、出願資格を満たしているかどうかを慎重に審議され、学校長が推薦の最終決定をします。推薦資格が認められた生徒は、その後、推薦選抜入試の出願を行います。

※推薦選抜入試での受検は、第1志望の学校のみです。

公立高校推薦選抜受検について



☆3学期懇談会について

1/15（月）、1/16（火）に行う3学期の懇談会では、公立高等学校の受検校を決定します。将来の夢・目標に、2学期の評定や第4回の実力テスト（12月15日）の結果などを照らし合わせて志望校を決定します。懇談会は、検討ではなく確認の場となります。個別に事前検討の必要がありましたら、担任までご相談ください。